



昭和十三年 九月二十一日

時局特報 (第三十八號)

極秘

臺灣總督官房外事課

主要資料名略號

	Canton Daily Sun. D.	C. D. S.
	China Weekly Review. W.	C. W. R.
	North China Daily News. D.	N. C. D. N.
	South China Morning Post. D.	S. C. M. P.
支 那	新 聞 報、 日、	新聞報
	申 報、 日、	申 報
	廣東七十二行商報、 日、	廣商報
	廣 州 共 和 報、 日、	廣和報
	Manila Daily Bulletin. D.	M. D. B.
比 律 賓	Philippine Herald. D.	P. H.
	Tribune. D.	T.
	Opinion. D.	O.
印 度 支 那	Courrier d'Haiphong. D.	C. d. H.
暹 羅	Bangkok Times. D.	B. T.
	Siam Chronicle. D.	S. C.
馬 來	Singapore Free Press. D.	S. F. P.
	Straits Times. D.	S. T.
蘭 領 印 度	Bataviasch Nieuwsblad. D.	B. N.
	Soerabaiasch Handelsblad. D.	S. H.
其 他	Asie Francaise (Paris) M.	A. F.
	Economist (London) W.	E.
	France-Outre-Mer (Paris).....	F. O. M.
	London Times. W.	L. T.
	New York Times. D.	N. Y. T.
	Nieuw Rotterdamse Courant. D.	N. R. C.
	Statist. (London) W.	S.

(備 考) D.- Daily, W.- Weekly
日.- 日 刊

華僑 一

(マニラ、爪哇)

- 一、軍事専門家の觀測
- 二、敵漢奸を特派し避難民の厦門復歸を誘導す
- 三、雲南省龍主席談
- 四、福建省の保安廳長黃珍吾就任
- 五、厦門僑維持會の傀儡に醜態百出

比律賓 一五

- 一、米國法蘭ギブソン氏のステートメント
- 二、前日本在住一獨逸人の戦争に對する論評

暹羅 二一

- 一、華僑秘密結社員逮捕さる

臺灣總督官房外事課

- 二、有力華商九名引致さる

馬來 二三

- 一、華僑移民は蘭印へ集中せず
- 二、支那難民農家に救の手
- 三、ドイツ、支那軍事顧問の寄居談
- 四、パリ・香港間直通空路完成
- 五、支那茶貿易の救済
- 六、支那に於ける英國權益の巨失

ワイプナイター用紙



華僑

(マニラ、爪哇)

一、軍事専門家の機潮一敵の南犯

は津、泉、潮、汕を目標とする

(福州通信) 倭賊は華南を進撃して支那軍の北上を牽制せむとして、たばかりでなく一面多大な代償を惜しげもなく投げ出して廈門を占據し依つて以て軍事上の根據地とし他面數十年來福建省にて活動して來た日僑民の潛勢力を利用し相俟つて外攻内應の効果を収めむとしつつあるから其の軍事上の野心は最早單なる華南擾亂ではなく之を觀視しつつあることが分る。而して最も注意を要すべきことは閩南地方の黑黨であるが之は現在已に公然の秘密結社として活動し始めたのである。巷間の説に據れば此の黑黨のバックとなつてゐるのは大部分臺灣

臺灣總督官房外事課

浪人と老漢奸であつて彼等は其の日本語並に廈門語に堪能なる點と多年に亘る密輸の經驗とを武器として省内奥地に潛入し無恥な漢奸を狩り集め本黨に加入せしめて大に活動させてゐる。曩に廈門が陷落せむとした時には同地大千旅社の屋上に青藥旗(青藥は黒色を呈す)一旗を掲げたのも是等無恥者流の所爲であつたと云ふ。彼等は最近其の羽翼と共に閩南地方に糾集し高山峻嶺乃至は廣大な森林地帯を利用しつつ南犯の準備に着手してゐる由である。是等不逞の徒輩は斯く専ら政府抵抗の所爲に出でゐると同時に其の陰險な手段に訴へて一般無智な民衆を煽動しつつあるが彼等は口癖に若し本黨に加入すれば壯丁の徵發を免れ各種の税捐を免除されると同時に毎月若干の給料を與へられ其の上如何なる不祥事件が発生しても黨の威力で充分保護するし又武器に至つては臺灣浪人が之を供給する云々と言觸らしてゐる。斯くの如くに荒唐無稽なデマが熾んに行はれて

るから幾多の戦艦に逃げ迷ふ愚昧な人民が此の種偽黨に加入し同時に土豪劣紳の鐵蹄下に喘ぐ幾多の生活不如意な農民が進んで冒險的な行動に出でつつあつた次第である。軍事専門家の觀測に據れば倭賊の南犯は必らず漳州、泉州潮州及汕頭を其の目標とすると。惟ふに閩南地方と廣東省の饒平縣とは僅か百餘里の隔りであるから若し是等後方擾亂の大患を其の醗酵醱酵の儘に委せむか同地方方面の後患は洵に末恐しいものがあらう。於是乎吾人は政府に於て速に是等不逞の徒輩を艾除し依つて以て統後民衆の抗戰力量を増強すると共に我が國同胞に於ては堅固な節操を保持し一時の得意を求めないで斯くて倭賊の奸計に陥らず其の南犯陰謀をして展開するに術なからしめるやう希望する。

(七・二六一新聞日報)

二、敵漢奸を特派し避難民の厦門復歸を誘導す

臺灣總督官房外事課

(廣東通信) 一 敵人は其の南支を犯し廣東省各地を擾亂せむとするの計劃を容易に實行出来なかつたので遂に閩南地方を蹂躪し依つて以て粵東一帯を脅威するの據點たらしめるべく方針を變更するに至つたから彼等は金門島占據後は時を移さず附近の列島を占領し最後に厦門を手に入れた次第である。我が國軍民は厦門の陥落後敵人の漳浦各地を犯さむとする計劃を看破し未然に之を粉碎したいが爲めに右各地の防備を一層堅固にし斯くて被占據地域の擴大を喰ひ止めむとしたが敵人も大に省内奥地へ深入りするの不得策を知つてか幾度も地方軍情を探つたものの遂に奥地侵犯の軍事行動を停止するに至つたのである。於是乎彼等敵人は専ら厦門の防備に没頭し依つて以て我が方の反攻を警戒してゐると同時に漢奸を利用して偽組織を造らせ且つ極力人心の收攬に努め斯くて我が方民衆の抗戰氣分を消滅し政治的手段に訴へて民衆の反抗心を弱めむとしてゐる。最近に

入手した情報に據れば、敵人は厦門民衆の抗日態度が極めて強烈であつて、總べて強制壓迫の手段を用ひなければ服従させ得ないやう事實を知つてゐたので、常に多數の水兵を駐屯させ、事毎に強壓的態度に出てるるも、民衆側の反抗心は寧ろ却つて強くなりつつあると。敵人は止むを得ず手段を改變して、我が民衆と合作すると聲明し、事實上又た偽維持會なるものを組織し、地方事務の處理に當らしめてゐるけれど、民衆としては勿論其のロボットであるに過ぎないことを熟知し、居り且つ今迄の壓迫は已に深かつた次第でもあり、頑として敵人と合作を肯じなかつたのである。敵人は最近偽維持會のメンバーは、どうも無力で民衆を支配することが出來ないと考へ、同會の組織を擴大し、何かの名案で地方の知名人士を呼び集め、同會に網羅したいと焦慮してゐるやうである。惟ふに地方の名望家は厦門の禍落直後、已に難を他所に避け、てゐたので、現在敵人に買収され、甘じて傀儡たらしむとした者は

臺灣總督官房外事課

大部分亡命の徒である。敵人は種々の方法を用ひて避難人士の厦門復歸を慫慂してゐるものの、悉く彼等難民に拒まれた由である。又敵人は一定期間内に厦門へ復歸しないと激烈な手段で懸賞すると揚言してゐるけれど、避難人士は一人として之に動かされる者はなかつたのみならず、彼等は孰れも如何なる高い犠牲を拂はせるとも、失地が回復されない間は決して復歸しないとの意思表示をしてゐた。現在偽維持會のロボット連中は、民衆の支配に實力を缺いてゐる上に、避難人士の厦門復歸が遅々として行はれない、廉で敵人に脚すれ地位並に身邊とも極めて危険であると云はれてゐる。按ずるに厦門は元來一小島ではあるが、商業は極めて盛んである。然れども陥落以來は、敵人に剩すところなく蹂躙せられ、一坪として敵軍の洗禮を受けなかつた所はないばかりでなく、市中は竄れ切つて、僅かに敵人が各處に横行し、其の殘虐なまされる手段を弄してゐる場面が見えるだけであると。

三、雲南省龍主席談一武漢防衛は極めて自信あり

(昆明通信) 雲南省政府主席龍雲は曩に中央軍事當局の招電に依つて漢口へ赴き對日抗戰並に建國方策を商議して歸來したが此の度往訪の記者に對し大要左の通りの談話を發表した。余が今回武漢方面で得た各種の印象は極めて良好であつた。其の内に最も愉快であつたのは蔣汪兩氏が對外的又は對內的の諸問題に關しては完全に意見の一致してゐたことであつた。氏は國民黨元老の資格で蔣氏の對日抗戰並に建國大計に協力しつつあるが洵に敬服の至りである。日支問題が今日のやうに變化して來たことは恐らく日本人の當初思も寄らぬことであつたでせう。又た日支既往の國交懸案は若し假りに日本側に於て平等互諒、共存共榮の大精神を體しつつ誠意を以て支那當局と折

臺灣總督官房外事課

衝したならば必らず順次に解決されたことであらう。併しながら日本軍人は東亞將來の大計に餘りに無頓着であつて其の心情は至つて陰險であつたから日支國交懸案交渉の度毎に理不盡な要求を提出したばかりでなく時に依つては大兵をさへ動かして挑戰して來た事實もあり遂に我が國人をして隱忍に術なからしめるに至つた。昨年の七月七日に北平の郊外蘆溝橋事件が勃發してからは我が國軍民は遂に應戰防衛を余儀なくせられるに至つたが日本軍閥は飽くまでも反省しなかつたので到頭大規模な日支戰爭を惹起するに至つた。事茲に至つては最早日本側に於て其の全責任を負はねばならぬと思ふ。現在日支戰爭は已に一半有余を經過し其の間には勿論重要城市の占據せられたところはあつたものの之は寧ろ僅かに一點乃至一線の失守であつて勿論全面的な敗戦ではなく抗日戰爭の大計には毫も影響がなからう。最近數ヶ月以來我が國軍民の抗戰意識は益々熾烈となつ

て又全國各階級の國民は已に精神的大同團結の域に到達してゐるから大武漢を防衛するには絶対に自信がある。當雲南省に就いて觀ても省民の發憤振りは實に偉大なもので即ち二十歳以上の男子は誰でも必死の覺悟を以て國家の徵發を待つてゐる。今後は假令武漢地方の陷落を見るとも勿論抗戰將來の大計には何等影響もなかるべく恐らく西南諸省は相繼いで徹底的に對日抗戰を續けることが出来るであらう。更に最悪の場合を豫想し假りに雲南省一省だけが生残るとしても當省を軍政の據點とし百折不撓の蔣委員長に於て引續き對日抗戰を指導するとせば我が國は畢竟最後の勝利を得、即ち失地を奪回し民族の復興に寄與し得ると信ずる。要之吾人は最後の目的たる勝利を得なければ決して抗戰の烽火を澁めず假令一兵一卒の苦境に立對つても飽くまで抗戰する覺悟である。日本人としては今後も以華制華、離間の劣策でう常套手段を弄するだらうが北平並に東南の一部無

臺灣總督官房外事課

恥な失脚軍人又は政客ならいざ知らず西南諸省には決して此の種不逞の徒がないと斷言し得る云々と。(八・一〇一新報)

四、福建省の保安處長黃珍吾就任

(福州通信) 福建省の新任保安處長黃珍吾は已に七月二十七日晚、福州へ來着し來る八月一日を期して就任することになつてゐる。實は右保安處長の職務は曩に前處長葉成が召されて漢口へ去つてからは參謀長朱文伯が臨時代理をしてゐたから黃處長の事務引繼は當然朱から引繼がれるのである。按ずるに黃は廣東省嘉應の産で福州軍官學校を第一回に卒業し頭腦明晰、手腕も又上々である。加へ口達者であることは仲々往時の戴笠賀等に劣らない。而も其の性質は温順で態度が又堂々としてゐるから蔣委員長(介石)は往年之を拔擢して侍從副官としたのである。黃は此の時分に黃浦軍官學校の同窓を糾合して一機社

其裁して智識の交換並に彼此の團結に資してゐたが其の聲望
 及才幹は愈々同僚の敬服するところとなつた。其の後林振雄な
 る者が教育長の資格で黃浦軍官學校の校務を掌理してゐた頃は
 黃は同校の政治訓練主任となつてゐたが林黃二人の名聲並に地
 位は略伯仲し其の職權も亦た大方同等であつた。然れども其の
 後は兩人見解の相違から感情の行違ひを來し又暫らくしてから
 は國內の政變も手傳つて軍官學校を自ら目體は遂に休校してしま
 つた。黃は召されて南京へ歸り憲兵團長に任じてゐたが其の直
 後には適々某外國人が中支漫遊の途次蘇州に於て突然失踪し彼
 此當局に於て調査接衝の結果遂に外國大使要求の犠牲となつて
 辭職するの止むなきに至つたのである。支那中央當局としては
 百も其の怨罪であり外國交渉の犠牲だと云ふことを承知してゐ
 るし黃自身も當局の苦衷を充分了解してゐるので少しも怨言歎
 聲を發せなかつた。是れがあらむか中央當局は益々黃を信任し

臺灣總督官房外事課

最近には之を武漢衛戍司令部の政治訓練處長に拔擢し今日に及
 んでゐたものであると。
 (八・一三一新聞日報)

五、廈門僑維持會の傀儡に醜態百出

(廈門コロンの通信) 廈門が敵人の手に落ちてから已にま
 る二ヶ月になつた。併しながら其の間敵人は如何にして廈門を
 統治してゐるか又敵人鐵蹄下の同地同胞は日常如何なる生活を送
 つてゐるかなどは恐らく廈門の近狀に關心を持つ同胞が均しく
 知つて置きたいことであらう。今廈門の傀儡に醜態が百出し
 てゐる模様を紹介して見る。

敵人が支那を侵略する手段としては普通兇惡な武器を使用す
 るの外に陰險な政治手段がある。北支及上海は勿論のこと敵人
 は一城市を侵略した都度必ず其の地に於て以華制華の政策を
 採用し幾多の民族を賣り祖先を賣り果ては自分の魂さへ賣り飛

ばす無恥な漢奸を煽動して傀儡政權を作らせた。例へば廈門が陥落した當時には牧師周壽卿が復興社の社長張鳴と共に逸早くも上海偽政府の命令を奉じて來厦し廈門治安維持會なる偽組織の設立準備に當つてゐた。そして周張二傀儡は幾度も東奔西走をして同會のメンバーを狩り集めたものの容易に之を得るに至らなかつた。それと云ふのは衆目の一致してロボットの適任者視された連中まで逃げ盡してしまつたからである。廈門治安維持會は斯くて六月二十一日止むを得ず貧弱な人選で成立するこゝとなつた。右維持會の組織は件の張鳴を最高の指導的人物とし其の下に會長一名を設け又會長の下に秘書長及外交參事を置き更に財政警察社會及交通の四局並に司法及水上警察の二處を分設し司法處の下には一法院を設立することとなつてゐる。次に其の人選顧觸は會長洪月楷、財政局長陳學海、警察局長蕭炳榮、秘書長陳國瓚、司法廳長兼法院長謝若濂などであつて外交

臺灣總督官房外事課

參事は敵國領事館の承認を要すると未だ人選決定されず又社會及交通兩局長は人選難の爲めに當分張鳴が兼任してゐるやうである。此の外に産業管理委員會なる機關があり陳學海等十餘人の漢奸又は臺灣浪人が其の委員に擧げられてゐたが之は依つて以て省民の財産を奪はむとする底意であるに過ぎない。現に是等傀儡は此の委員會の役割を中心に互に權限を爭奪してゐるから之を觀ても傀儡政權の組織が如何に紊亂してゐるかを知ることが出來よう。最近の噂では件の維持會は將に改組されむとして居り而も會長の一職は上海偽政權の有力者溫宗堯の服心盧英に奪はれはしないかと觀られてゐる。盧は廣東の人で現に上海大道政府の第二科々長に任じてゐる。之を觀ても廈門の敵國軍憲が洪月楷の漢奸連中に對し最早信任してゐないことが分る。

(八・一三一新報)

比律賓

一、米國土議ギブソン氏のステートメント

(五月三日) 一、米國土議ギブソン氏は米・比開の問題に就いて「米・比兩國は一國の下に於いて協力すべきであり、米國としても當地は現在上海が完全に日本化する時には是非とも我々の足場として東洋に於ける日本の侵略を阻止するには最好の地である」と強調した後東洋に於ける日本の目的に就いて次の如く述べて居る。

ステートメントの内容。

「日本が比律賓の資源に干與し、其れを開発せんとして居るのは果して何を意味するや。これに就いて余の考へる所を率直に述べると、日本が極東に於いて獨占權を得、より強き大國家を建設せんとする野心を如實に物語つて居るものである。」

臺灣總督官房外事課

亞細亞に於いて日本が政治的に經濟的に指導者となつて一國家を建設せんとして居ることは其の當時者が再三再四世界に向つて發表したところであり、これが現代日本の根本政策であることは疑を容れざる所である。然るに之れに對して世界はあまりにも寛大に事を構へ過ぎて居る。日本の野心は十億よりなる亞細亞人種を彼等の云ふ「アジアティズム」で以つて日本の帝國旗の下に服従させ、以つて日本を首領と仰がさしめ結合したる一つの大きな「日本」となさんとして居るのである。日本は實に巧みにアジア人種に「諸君はアジア人種たることに目覺ゆ」とばかりに呼びかけ、我々はお互に協力して一國家を建設すべきことを強調して居る。最近の帝國議會で首相のなしたるステートメントをそのまま發表すると、

「亞細亞に於ける帝國政府の今後取る^(遠東政策は)、支那の再建設に盡力する」と彼の内部に隠れたる野心を充分に表明して居る。

然るに世界はあまりに此の意味を實直に考へ過ぎそこに包まれる野心を理解出来ないのである。

余をして云はしめれば日本人は最も恐るべき且つ最も世界に脅威とされるものをつくりつつあり、漸次諸國の資源に侵入しつつある。されば彼をして平和を亂す者として當然排斥すべき人種である。と敢て断言するものである。

要するに現在のところ日本人は極東を征服し、世界を何等尊重することなく相互に結ばれたる規定を破壊しつつあるのである。

一九三六年に於ける日本の消費に對する統計をみると彼等が如何に世界に供給を仰いで居るかと云ふことが良く理解出来る。

即ち消費物の内鐵礦石六五%、石油九〇%、羊毛九五%、棉花八五%、石炭三〇%、腰膜一〇〇%は外國より輸入したる。

臺灣總督官房外事課

ものであり、軍需用品として最も重要視される鋼鐵並びに製品クローム、滿俺、マグネシウム、アンチモン、タンゲステン、硫水鉛礦、化學藥品としての燐、毒瓦斯の原料品、爆薬彈としての水銀、ニッケル、石綿等のものは日本に於いては殆んど産出しない状態にあり、林業に於いても、農業に於いても然りである。然るに日本が亞細亞のの征服開始し、比律賓にまで其の手を伸し、之の地を支配する時には彼等は當然強國となることである。うし、日本を發達さす好條件を彼等に與へるわけである。

然るに世界は日本の重商主義、軍國主義及びインペリアリズムに對してあまりにも無關心過ぎる「云々と述べて居る。

斯くてギブソン氏は比律賓と米國が提携しお互に國旗の下で進まんことが最も望ましいことであると述べ、獨立後の日本の比律賓侵略を極度に怖れて居る。

尙彼は表面的には獨立と云ふ問題には觸れて居らないが比律

資の獨立には不賛成であり、何處までも米國の屬領として比律
 資を支配すべきである」と云ふことを示唆して居る。

(三八六六—PJ〇)

二、前日本在住一獨逸人の戦争に對する論評

永らく日本に在住し、現在比律資に居る一獨逸人H・J・ク
 ルツ氏は「今次の日支戦争は日本が經濟上の行詰りを打破せん
 ためになされたものであり、日本軍部の考へて居るゴールに
 入るのは今年中であらう。且つ日本軍部の本格的行動は九月乃
 至十月中に開始されることとせらう」。

尙日・支戦争の状況を觀察したる人々の意見に依ると兩國は
 お互に尋變の水びくことを快しとはしておらず、現在支那側の
 非活動的なる行動は嵐の前の静さとも云ふべく、必ずや近日中
 に極東に於いては凄じき戦を世界は目撃することであらうと述

臺灣總督官房外事課

べて居る。

尙クルツ氏の意見に従へば日本は原料物資の不足に喘ひて居
 り、これは五、六ヶ國との貿易が不振を期したためであると思
 考される。現在の日本の不完全なる經濟情勢はやがては通貨に
 變動を期し、現在彼等が輸入品に對して關稅障壁を設けて之れ
 を阻止して居つたため外國よりの商品は輸入されて居らなかつ
 たが一度彼等が外國より商品を輸入したところで、恐らくは日
 本の經濟が立つてゆかず自滅することであらう。

(一八一—P H)

退
羅

一、華僑秘密結社員逮捕さる

盤谷警察当局は華僑秘密結社に依つて市内某米商・襲撃が計
畫されてゐることを聞き込み、警官を派して同所附近を警戒中
日曜日夜暴動不審の華僑の徘徊せるを發見、逮捕せる處、果し
て短剣を所持、直ちに拘引留置して取調べ中である。

(八・一六―BT)

二、有力華商九名引致さる

Buan Hoa Sang 商會の支配人 HAT HOA MENG PLOW を始め九
名の華僑有力實業家が日曜日夜廣東銀行裏手の料理屋から引致
された。何れも日貨ホイコット團メンバーの嫌疑に依るもので
ある。

(八・九―BT)

臺灣總督官房外事課

馬 來

一、華僑移民は蘭印へ集中せず

(パタビア、七月十二日)

統計の示す處によれば二ヶ月前、海峡植民地の華僑移民割當數制限の結果移民群は爪哇に向つて偏入しやうとの懸念は一掃された。

移民局によれば、英領馬來及爪哇に入來する移民の種類は全然異なつてゐる。爪哇に渡航する移民は歐洲人同然永住の計程であるが、英領馬來への移民は出來得る限り蓄財した上引揚げるものが多い。

蘭領印度全體には年一萬二千の華僑移民割當があり、英領馬來には月一千一内、男子五百、女子五百となつてゐる。

(七・一八一BT)

臺灣總督官房外事課

二、支那難民農家に救の手

(上海、七月十一日)

戦争により家屋田畑を逐はれた數千の農家が近々支那政府によつて新生活のスタートに入らんとしてゐる。

難民救済問題の第一建設段階として、政府は國民救済委員會を迪じて中支那の江西省南部の開墾事業を逸早く完成せしめんとして居り、右は日本軍爆彈及砲彈の海外に於て土地の耕耘、畜産及茶、煙草栽培を復興し得るに至るであらう。

地方當局は前記委員會と協力して新移住者にはあらゆる支援を惜しまぬと云つて居り、農具、種子、水牛及牛は同委員會に各地に數多支部及組合店を設置する一によつて貸與せられるであらう。

尙「クウイチョウ」、雲南及四川各省に於ける開墾事業計畫も亦完成せんとしてゐる。

昨年七月開戦以來一億五千即ち支那人口の約三分の一以上は直接戦禍の犠牲となつてゐると推定せらる。就中約三千萬は相互の救援による生活をして居るが、尠く共五百萬の人には飢饉を免れしめる爲め當局緊急の救済を必要とするものであると「ロイター」。

(七・二〇一ST)

三、ドイツ、支那軍顧問間の寄屋談

一九三四年來支那、ドイツ主席軍顧問フアルケンハウゼン將軍は本國政府の召還命令により、歸國の途次來星した。

「支那を離去するは遺憾である。支那軍顧問として予及隨員を轉任せしめたる仁に付ては陳述を憚る、ドイツ顧問がフランス軍人に替へるであらうとの報告には發言を肯んじなかつた。今回の歸還はドイツ外務省の對日態度の變更によるものであると。」

(七・二〇一ST)

臺灣總督官房外事課

(別報によれば新嘉坡日刊紙所掲のフア將軍會見談は同紙の捏造記事なること判明の由)。

四、パリ、香港間直通空路完成

(香港、八月十日)

エール・フランス機は本日河内より香港へ乗客十名搭乗第一回飛行を行つた。之にて巴里―香港間直通連絡を完了した事となる(ロイター)。

(八・一一一ST)

五、支那茶貿易の救済

(上海航空便)

英人茶專問家 R. H. Mitchell は此の程支那政府により技術方面に於て支那茶取引改善に資するため傭聘され、戦禍の結果蒙れる缺點を克復救済することと成つた。

或る種の支那茶産地が日本軍の手に落ち、他は實戦に遭はずともゲリラ戦による被害あるにも拘らず、有名なる茶の生産及輸出が或る場合に於ては戦前より増加してゐることは驚くべき成功といえる。

この成果は China National Tea Corporation (支那国立茶會社) と稱し、支那政府及有力銀行家及茶商の合同事業たる独占的管理の下に茶の賣捌及輸出を特別戦時手段に於いた爲めであることは最もである。

前記ウイサム氏は同會社の技術顧問の一員で、その監督の下に數多試験場及販賣委員が他の産茶と優先的に支那茶の飲用を勸奨するために機能を發揮してゐる。

上海は支那茶貿易の主要中心點であるが、同港は目下日本側の管理を受くるため、支那国立茶會社は徐々に主なる取引を香港に移動しつつある。因にウ氏は大戦後印度の茶プランターと

臺灣總督官房外事課

なり、支那政府の特別要請に應じ印度より着任したものである (ロイヤル)。(八・二〇一ST)

六、支那に於ける英國權益の巨失

總變勃發前大約三億磅と推定されてゐた支那に於ける英國の投資額は四割乃至五割方減少し、之が爲め現今に於ては僅か一億五千磅より一億八千萬磅に上ると。

一ヶ年有餘の間に於ける英國の推定損害は在上海英人商業會館所會頭 (Sir Robert Calder-Marshall) によつてロイヤルの爲め作成され、獨占的に提示された報告書中に記載されてゐる。上海に於ける英國財産の實際損害額のみにも約五十萬磅に上ると算定されてゐる。

更に、前記損害額以外、依つて生ずる損害は此の上なく大で、較小限度前記額の十億乃至十五倍即ち五百一六百五十磅の巨額

に達するものと推せられる。

右報告書に依れば、

「此等推定は夫れ自身驚愕に足るものであるが、支那人によつて蒙れる巨失が自ら復興力に影響し、かくて對支貿易及外國貿易及通商に直接關係を有する如く商業及工業に従事せる人々に不安と焦慮を興へてゐることは大きな事實である。

或後の章節に於て、貿易、商業及工業は孰れも土壌よりの生産物に依有し、又有效且つ廉直なる交通施設に俟つものである。(荒廢地域)最近十二ヶ月間に支那は大面積に亘つて荒墟と化し、都邑・村落・田畑は焼失され又は被爆された。被害は追拂はれ、屠殺され、又農具は破壊された。地方住民の大部は貧に苦しみ、難民として分散した。道路或は河川による交通は阻止され、軍用上若くは其他の理由により商業上の搬出は行はれず、上海及 Wushih, Chongchow 及南京に於ける工場は小敷を除

臺灣總督官房外事課

き破壊され、被害を受け、操業不能に陥つてゐる。

上海の強みは實に偉大で、上海の實業市場たる大ヒンターランドは目下の處閉鎖されてゐるが、之が再開起には過去に於ける破壊から復興し、再建設するに至るまでには相當の年月を要するであらう。

然らば今後の見越しは如何？突發的なるものを根本的なものと切離すことは困難で、課せられ居る或る種の制限は一時的であるか、又は單に軍事上原因によるものと考へられる。左もなければ根本的政策の一部であるかも知れず、其の何れに歸屬するや之を決定すること困難である。

滿洲國に於ける門戸開放及天津に於ける日本向を除く特定商品の輸出禁止及決定的不利に向けられた外國商業及海運業者に課せられた制限は門戸開放の對句で根本政策を裏書きせるやに見える。

(日本の政策) 上海の共同租界内及租界外にある私營工場の操業上の障害は日本側と協力するに非ざれば共同租界に於て日本がパートナーで、同地内にある市民権を保護する義務あるといふ事を反復提議せるにも拘らず、その目的が其の他名目上一時的の原因が制限に擧げられるとも、日本の工業統制に關する根本方策を暗示するものである。

日本側當局が上海の北部及東部區域一同市工場地帯で、右地域に於ける實際軍事行動は八ヶ月前に終熄してゐるにも拘らず一に無制限立入り許可を相變らず拒否してゐることは工業の開始を阻害し、租界の重大難民問題を増加し、根本方策を表示するものと看做される。

鐵道、電信、電気事業、鑛業及他の重要産業の管理經營、又は公益事業は獨占事業として統制する爲め日本に於ける北部及中支大會社の合同も亦、事實、名目のみでなく、實際に機能な

臺灣總督官房外事課

發揮するに非れば、北支臨時政府及南京維新政府の獨立あるにも拘らず、支那といふ家庭に日本を家長たらしめることと成るであらうとの慎重に企圖された方針を物語るものであらう。

北支那に於ける聯合準備銀行の設置により、北支を滿洲國・日本ブロックを形成せしめ、輸入の際に於ける外國爲替オペレーションを制限し、斯くの如きオペレーションに對しては反對に輸出のカバーによつて確信せしめ、之と違な場合を行はしめてゐる。現在自由な爲替市場はない。

(專業統制) 以上述べたる專柄は一時的なりや然らざれば支那の日本化を目論むる根本方針を代表するものなりや。右は果して實行され得るや。此等は時日が獨り解決し得る問題で、この成果を左右する取るに足らぬ要因は多數あるも、本年五月十日付上海毎日新聞の論說から左記拔萃を熟讀すれば前述の如き賦課された制限は根本方針を表現するもので、單なる一時的のものではないことは明かとなるであらう。(八・一—RT)